

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

鏡石町立第二小学校（5学年）

2 実施日

令和5年7月11日（火曜日）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化をあまくみちゃいけないと思った。今も色々な場所で被害を受けているんだと思った。日本であたりまえなことは、キリバスではあたりまえではないということが分かってびっくりした。

地球温暖化は、人間が起こした物だと思ってもいませんでした。そして、その地球温暖化のせいで人々が暮らしにくい生活になってしまうということで、私も、少しでも地球温暖化を減らすためにがんばりたいなと思った。

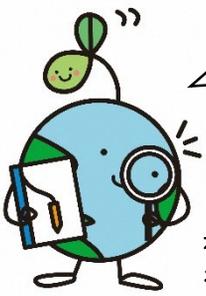
地球温暖化は、人間がおこした物だと思ってもいませんでした。そして、その地球温暖化のせいで人々が暮らしにくい生活になってしまうということで、私も、少しでも地球温暖化を減らすためにがんばりたいなと思った。

地球温暖化は、ただただ気温が高くなるだけだと思っていたけれど、それでキリバスがなくなっちゃうなんて大変だと思いました。そして「自分にできることは、なにかな？」と思いました。

地球温暖化やキリバスについて興味をもつことができました。ケンタロさんの話はとてもおもしろかったです。最初は地球温暖化がいまいち分からなかったのですが、地球温暖化は、命を落としてしまう大問題だと分かりました。

キリバスは、青い海、青い空、白い砂浜。あんなにきれいなキリバスが、地球温暖化や流れ着くプラスチックごみによって汚くなっていることが分かりました。あと、キリバス、世界はつながっていることが分かりました。これからは、自分にできることをやって、ちょっとでも力になろうと思います。

たくさんの国から出た、たくさんのゴミがキリバス共和国に流れ着いたり、地球温暖化で1つの国が崩壊するかもしれないことが良く分かりました。これからは、ゴミを見つけたら拾いSDGsをやっけていき自然を大切にしていきます。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ごみ拾い
- 電気、水の節約

ごみ拾いを、進んで、できた。
家で、歯みがきをするとき、こまめに水をとめた。学校で電気を消すべきときに消し、家では遊びにいくときに電気を消すことができた。



- 石油をあまりつかいすぎない
- 水の節約
- ごみ拾い

石油（車）をあまり使わなかったの
で自分的にはいいと思いました。キ
リバスというすごいきれいな島が無
くなるのが嫌なので、これからも水
の節約やごみ拾いなどをがんばりま
す。



- 誰もいない所の電気を消す
- ごみは、すぐ拾う事

毎日、落ちているごみを拾ったり、
誰もいない所は、電気を消しました。
全部毎日やることができました。



- 食べ残しをしないようにする

食べ物を残さないように食べると
自分もすっきりしました。これから
も食べ物を残さないようにがんばり
ます。



- ごみをちゃんと拾う
- 地球温暖化をちょっとでも防ぐ
- 2050年には世界の人々が安心して暮らせるようにする

自分の教室や自分の住んでいる家の所のごみをいっぱい拾いました。みんなも
いっしょにごみを拾えば地球温暖化を防いで、みんなが安心して暮らせると思いま
す。これからもごみを拾ってちょっとでも地球温暖化を防いでいきたいです。

